

いつも熊本日日新聞をご愛読いただきありがとうございます

今回の表面には、金婚式を迎えられたご夫婦を紹介します。今月11日に「熊日金婚夫婦表彰式」が各町村で開催されました。多良木町で24組、あさぎり町岡原地区で9組、湯前町で12組、水上村で5組でした。金婚、誠におめでとうございます。

### 第62回熊日金婚夫婦表彰式 笑顔と涙 分かち合う 激動の50年 支え合う

TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI OKAHARU

# 球磨ん タイムズ

地域と読者の架け橋

OKAHARU TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI

編集・発行  
熊日多良木販売センター  
球磨郡多良木町大字多良木 356-1  
TEL 42-3355 FAX 49-1726  
http://www.taragi.com/  
熊日湯前販売センター  
球磨郡湯前町中里 1830 TEL 43-2151  
代)小出堅太郎 石田敏郎 那須信一  
編集：岩水由香

球磨んタイムズは当社ホームページでもご覧いただけます。また facebook ではコーナーごとに掲載中。「熊日多良木販売センター」を検索して下さい。

湯前町  
平川 伊三男さん  
みさ子さん



夢と希望に満ち溢れていた御結婚当初。決して順風満帆とはいえない夫婦生活だったと話す平川さん夫妻。山あり谷ありで悩んだこと、苦しかったこと、様々な出来事にも夫婦手を取り合って乗り越えられてきました。50年という節目を迎えられたことに対し、御主人の伊三男さんは「妻の忍耐力、大きな愛情のおかげ」と話され「私の性格をよく理解しバランスを取ってくれていた」と感謝されていました。奥様のみさ子さんも「些細なケンカもあったけど、50年間互いに寄り添ってここまで来れました」と話されていました。二人の子宝にも恵まれ、より一層の責任と自覚が芽生えたと話し「家族の絆・支えてくれる妻・待っててくれる子ども達にどれだけ励まされたか」と、当時を振り返る伊三男さんの優しい表情から、家族を愛し愛され、お互いを尊重できる素晴らしい人間性が伺えました。

今後も、「夫婦仲良く、感謝の気持ちを忘れることなく健康に留意して過ごしたい」と話される、伊三男さん・みさ子さん夫妻でした。

多良木町多良木  
恒松 春喜さん  
代利子さん



多良木町上の原にあった、西村繊維のバレー部監督と選手という関係からお付き合いが知り結婚されたご夫婦。新婚旅行は当時人気だった「宮崎～鹿児島」へ。春喜さんの運転で出発されたものの、春喜さんは方向音痴でプラン無しの旅。「ハプニング続きで今となっては良い思い出だけ、よう帰って来たなと思う」と春喜さん。その後、自宅に「春喜電器」を開業されましたが、営業が苦手だった春喜さんは球磨工時代に取得していた電気工事士の免許を活かし、九電工の下請けをする「春喜電設」を設立され現在は長男さんが継がれ今に至っておられます。三人の子供に恵まれましたが、子育てが大変ななか電器屋さんの仕事がうまくいかず、借金もあり苦労されたそうですが代利子さんの協力と支えもあり何とか乗り越えて来られたそうです。「苦労してきたが、今では孫7人、ひ孫2人に囲まれて使われもするが、幸せな毎日です。私たちが孫の面倒を見ることで、同居している息子夫婦も安心して仕事ができると思います」と最後は笑顔でした。

あさぎり町岡原北  
橋本 正照さん  
みほ子さん



ご結婚と同時に就農された橋本さんご夫婦。主にタバコやメロン、イ草にインゲンなどを栽培されてこられました。特にタバコやメロンは、橋本さんご夫婦が30歳代の頃が最盛期で「あの頃は収量も多く、儲かってたね(笑)」と当時を振り返られます。しかし50歳代の頃には、大雪のためビニールハウス6棟全てが倒壊してしまった時が一番大変だったと話されます。

また正照さんは旧岡原村議やあさぎり町議、PTA会長を務められるなど、地域や組織のために尽力されてきました。また地元企業のバレーボール部の監督として、チームを率いて県大会を制覇し、全国大会に出場されるなど活躍されてきました。一方みほ子さんは、マスクやエプロン作りなど洋裁をされるのがご趣味。これまでずっと多忙な正照さんを支えてこられました。正照さん曰く「妻と母の2人に農業を任せっきりだったから、妻には今でも頭が上らない」と苦笑いされるほど、橋本家を盛りたててこられたそうです。

橋本さんご夫婦は、2男1女に恵まれ、更にお孫さんは合計で11人いらっしゃいます。現在はそのお孫さんのお世話をしたり、成長を見守るのが何よりも楽しみだとか。正照さんが買物してこられた食材を見て、みほ子さんは献立を考え、同居する長男さん家族や、近くに住む娘さん家族など11人分の夕飯を準備し、届けられています。働き盛りのお子さん達や、育ち盛りのお孫さん達には、何よりもありがたいことでしょう。

水上村岩野  
余利 基行さん  
五百子さん



基行さんは水上村役場に入庁された後、建設課長など様々な役割を歴任され、水上村の発展に力を注いでこられました。趣味は寒蘭。若い頃一時期夢中になっていた時もあったそうですが、現在も大切に育てられています。またヤマメ釣りもお上手だったそうで、1日で59匹釣ったこともある腕前とか。一方五百子さんも、水上村役場に臨時職員としてお勤めになられたことがあり、そこで知り合いご結婚されました。しかしお二人は岩野小学校の同級生だったのですが、当時は全く面識がなかったそうです。また基行さんは当時倉本さんという姓でしたが、母方の余利家に後継ぎがいなかったことから、結婚後にタイミングを見計らって、余利の姓を引き継がれました。

その後五百子さんはJAにお勤めになられますが、出産を機に退職されました。お二人には3人の娘さんがおられますが、現在は長女さん家族と同居されています。娘さん達が高校生の頃は、毎朝湯前駅まで送り迎えをされていたようですが、学校が違えば帰宅時間も異なり「1日何往復もしなければならず大変でした」と、五百子さんは振り返られます。また家族旅行などを楽しみにされていたようですが、今年はコロナウイルス感染予防のため、何処にも行けず仕舞いになって残念だそうです。その代わり「現在は孫が元気の源です」と語られるほど、お孫さんの成長を楽しみにされています。「そのためにもお互い健康に気をつけて、長生きしないとね」と、お二人で話しておられました。

# 球磨ん文化財巡り NO.63

国登録有形文化財

明導寺本堂



白い壁で洋風のこの建物は、大正15年1月に竣工された、浄土真宗本願寺派のお寺の本堂です。設計したのは当時の住職の長男さんで、関東大震災の教訓をいかした耐震設計となっています。当時は地域の憩いの場として、また柔道の合宿、映画や芝居などにも使用されていたそうです。



## 復興への道しるべ

人吉球磨 風水祈りの浄化町ブランド  
オリジナル「チャリティーTシャツ」販売



人吉・球磨  
風水・祈りの浄化町

### HITOYOSHIKUMA Reborn 人吉球磨～再生～

官民一体となって進める観光プロジェクト「人吉球磨 風水祈りの浄化町」のプロジェクトチームが、SNSのフレームに続きオリジナルチャリティーTシャツを作成し、販売することになりました。

満ち欠けを繰り返す月は、空気が澄む人吉球磨では殊更美しさを増し光り輝きます。また、三日月の形をした人吉盆地は、別名「三日月盆地」とも言われることから三日月を復興・再生のシンボルとして再発信することになりました。過去幾多の災難を乗り越え700年続いた人吉球磨は、今回も必ず復興・再生します。

当ブランドでは、再生の願いを込めて、チャリティーTシャツを2,000円で販売し、収益は観光復興のため寄付致します。

\*取り扱い販売店\*

多良木町…Training&Conditioning Studio 和さん

熊日多良木販売センター

湯前町…ユノカフェさん

錦町…球磨禅心生活さん

人吉市…珈琲豆屋むかしむかしさん

[メンズサイズ/XL・L・M・S]

[レディースサイズ/M・S]



## 暖談なあ

◆7月豪雨の復旧もまだ道半ばというのに、熊本の西側を北上した台風10号。一部で猛烈な雨が降ったが、人的被害は少なく、火災も想定もつかぬ被害が出た。前日までは史上最強、そうとんでもない被害が、かき回された。先行の9号が海水温を下げる例年、9月からは台風の本格シーズンだ。当分の間は、10月も肩すかしを食わさず、準備をたなひたし、おなをきり、と前向きにとらえよう。(X)

### 園児紹介 くめ保育園 さくら組4名 担任 橋口由美先生

元気いっぱいさくら組さんです。運動会で発表する、和太鼓の練習をがんばっています。保育園最後の運動会。せいっぱいがんばります!! 仲間思いで、優しい小学生になってね!がんばれさくら組さん!

### 令和2年 熊本豪雨 大水害の記録

緊急出版 特別報道写真集

### 豪雨災害で被害に遭われた皆様に 心よりお見舞い申し上げます

熊本日日新聞の記者が総力を挙げて取材し掲載した特別報道写真集「令和2年熊本豪雨 大水害の記録」を緊急出版発売中。

体裁：A4判、64ページ  
定価：1,000円(税込み)  
発行：熊本日日新聞社  
制作・発売：熊日出版

本書の売上の一部は、被災された方々への義援金に充てさせていただきます。

### 多良木警察署だより

## 令和2年「ひのくにピカピカ運動」の実施について

例年、秋から冬にかけて日没が早まり、夕暮れ時から夜間にかけての交通事故が多発する傾向があることから、特に「反射材の活用」と「前照灯の早め点灯」等を実施し、交通事故防止に努めましょう。

**運動の期間**  
令和2年10月15日(木) から  
令和2年1月31日(日) までの間

令和2年11月6日(金) はひのくにピカピカ運動の県下一斉キャンペーンの日です。ご協力よろしく願います。

(1) 反射材の活用  
○夜間外出するときは、反射材を活用するとともに、明るい服装を心掛け、ドライバーから目立つようにしましょう。

(2) 前照灯の早めの点灯と上向き点灯の励行  
○夕暮れ時には、意識して前照灯を早めに点灯し、自車の存在を周囲に知らせましょう。  
○対向車や前を走る車がないときは、前照灯を上向きで点灯し、歩行者の早期発見に努めましょう。  
※車だけではなく自転車も同様にライトの点灯をお願いします。

・前照灯は夕方5時を目安に点灯するようにしましょう。  
・雨天、霧などの日には、昼間でも点灯をしてください。

(原稿提供：多良木警察署)

◆7月豪雨の復旧もまだ道半ばというのに、熊本の西側を北上した台風10号。一部で猛烈な雨が降ったが、人的被害は少なく、火災も想定もつかぬ被害が出た。前日までは史上最強、そうとんでもない被害が、かき回された。先行の9号が海水温を下げる例年、9月からは台風の本格シーズンだ。当分の間は、10月も肩すかしを食わさず、準備をたなひたし、おなをきり、と前向きにとらえよう。(X)